

普及活動情勢報告（令和２年１２月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

翌春の自立に向けて！

・・・三原村農業公社ユズ研修生指導・・・



11月16日、三原村農業公社の研修生に対して、就農準備とユズの収穫作業について指導しました。

担い手・経営担当からは、就農計画作成の進捗状況や住居および倉庫の確保状況を聞き取り、倉庫の確保が難しい場合は、断熱材被覆小規模ハウスでの代替を紹介しました。果樹担当からは、上手な収穫の方法や腐敗を防ぐための注意事項を指導しました。

公社の研修期間が一年間と短いため、農業改良普及課では今後も、準備が遅れないように支援を行っていきます。

ドローンに興味津々！

・・・幡多地域集落営農法人連絡協議会・・・



11月27日、あぐりっこ研修センターで幡多地域集落営農法人連絡協議会を開催し、管内の14法人23名と関係機関16名が参加しました。

農業改良普及課からは、飼料用米の有望品種実証試験の結果や経営データの活用、法人運営に必要な手続きの情報提供を行いました。また、多くの法人が興味を持っているドローンについて、導入している法人の体験談や実演を行い、導入に向けた情報交換を行いました。

農業改良普及課は、今後も法人の経営発展につながる情報の提供を継続していきます。

ニラの出荷調整で農福連携強化へ！

・・・農福連携調整会議・・・



11月30日、JA高知県大方南部事業所で、ニラ出荷調製作業を行っている3福祉事業所とJA、振興センターで意見交換を行いました。

事業所からは、「事業所間でのローテーションの調整、そぐり機の音が気になる利用者がいる、作業参加人数が多いと秤が足りなくなる」などの課題や要望等が出されました。これに対しJAからは、そぐり機の音が聞こえない作業部屋や、必要分の秤を用意するなどの解決策が出されました。

出荷場ではまだまだ人手が足りず、より多くの事業所の参加を期待しているとのこと。農業改良普及課では今後も、出荷場と事業所で効率的な連携がとれるよう支援していきます。

安全安心に農業をしよう！

・・・大方露地部総会・・・



11月30日、JA高知県大方支所で、大方露地部総会が開催され、部会員9名が参加しました。

農業改良普及課からは、安全安心な農業を行うために農産物や作業員にとって危険なところはないかの確認と、危険を未然に防ぐための農作業の見直しを呼びかけました。大方露地部会は令和3園芸年度から佐賀地区のシシトウ生産者が入部し、25名となり、より連携した部会活動が期待されます。

農業改良普及課は、今後も活発な部会活動になるよう支援を行っていきます。

スマート農業を語る！

・・・幡多農業高等学校での講演会・・・



12月2日、幡多農業高等学校園芸科の2年生28名と同校教諭を対象に、国内や高知県でのスマート農業の取組について、農業イノベーション推進課の専門技術員による講演会が行われました。農業改良普及課は、関係者と協議して内容やスケジュールを調整し、講演会の開催を支援しました。

高校生からは、スマート農業のメリットとデメリット、導入機器の故障時対応等の具体的な質問が出ました。

今後も、高校生等へのスマート農業の周知を図っていく予定です。

作業効率を良くしよう！

・・・四万十市オオバ生産者のカイゼン・・・



12月4日、四万十市のオオバ生産者と、収穫や芽かき作業を効率化するための「カイゼン」の方向性について協議しました。

農業改良普及課からは、11月に行ったコンサルタントの現地調査結果や、事前に撮影したビデオの分析結果を説明しました。その後、標準となる作業員の選定や、作業員間での情報共有方法など今後の活動について協議しました。

農業改良普及課は引き続き、作業動画の収集および分析、カイゼン策の提案などを支援していきます。

新規就農者の確保に向けて

・・・幡多地域新規就農者支援ネットワーク協議会・・・



12月9日、農業担い手育成センターで、幡多地域新規就農者支援ネットワーク協議会を開催し、幡多地域の市町村、JA、県関係者等19名が参加しました。

農業担い手育成センターから、研修ハウスや近年の研修生の状況、Web研修等の実施状況についての説明を受けた後、研修生確保に向けたPR方法について意見交換を行いました。

参加者からは「研修施設をもっとPRしたい」「移住サイトとの連携によりもっとPRできるのでは・・・」等の意見が聞かれました。

今後も幡多地域での新規就農者確保に向けて、関係機関と連携して取り組みをすすめていきます。

四万十市東富山地域の集落を守るために！

・・・（農）いーすとみやま設立総会・・・



12月13日、四万十市東富山地区の旧片魚中学校において、組合員11名、関係機関9名が参加し、「農事組合法人いーすとみやま」の設立総会が行われました。

東富山地区では、平成17年2月に集落の維持・活性化のために「東富山を守る会」を設立し、地域の福祉や交流活動、農業生産に取り組んできましたが、地域の農地維持と農業後継者確保を目指して生産部門を法人化しました。組合員数は16名、R3年度は水稻や野菜2.5haの栽培に取り組む予定です。

農業改良普及課は、法人の経営安定に向けて栽培指導や経営管理の支援を行っていきます。